

高松教区の兄弟姉妹たち ⑧



ドミニコ会 神の母マリア修道会

説教者会(ドミニコ会)隠世修道院はスペインの聖ドミニコによって、1216年の説教者会創立(男子)に先立つ1206年、フランスのプリユに創立されたことに端を発しております。それは、聖ドミニコが、神のみに献身する観想修道女を、自分の「聖なる説教」に祈りと償いによって参加させるためでした。それから800余年、ドミニコ会の伝統の中で、隣れみ深い神のくすしき摂理によって、私たちは四国で観想生活を送る恵みをいただくことができました。

日本での最初のドミニコ会隠世修道院は1936年、ベルギーベトレム修道院から6名の修道女によって、盛岡に創立されました(盛岡口ザリオの聖母修道院)。



1957年、盛岡から名古屋教区に2番目の修道院、瀬戸聖ヨゼフ修道院が、1969年には会津若松に雪の聖母修道院が(現在は会津磐梯町)、そして1971年、三本松(現在は高松市香南町)に私たちの修道院が創立され、日本に4つの説教者会(ドミニコ会)観想修道院が誕生し、現在に至っております。

私たちの使命は、隠れて主を探し、主を思い、主に祈願することであり、従順の誓願(清貧、貞潔を含む)によって、自己を神に奉獻いたします。教皇制禁域の中で、祈り、労働、勉強、沈黙などによって共同生活を営みながら、生活の糧として製菓業にたずさわり、神への賛美、感謝、礼拝、償いのうちに人々の救いのために奉獻の日々を送っております。現在、会員12名、受付係1名、計13名です。

司教館の窓から 司教のひとりごと

桜町教会のステンドグラスが完成して、見事な佇まいとなった。うれしい次第だ。「クリスマスに小さき会堂のあわれなる」と詠った子規の句がある。細々と宣教を続けている宣教師の姿をあわれと感じているのだろう。聖堂のみ綺麗に

しても、寒々として人がいなければ悔みである。小さく問わず、その温もりを感じられるかが大切な事であろう。更に神様の息吹が感じられる聖堂にしていくには、どの様な工夫が必要なのだろうか。多分一番必要なのは、聖堂を訪れる人の信仰であろう。



ひと 徳島 阿南教会 渡部厚子さん



約二十年前、阿南教会に若いご夫婦がこられ、高齢者が多い中で、ひととき目立つた存在となりました。それが渡部さんです。率直で飾り気がなく、周囲の人々にすぐ溶け込み、物事に真剣に取り組む姿勢は共同体に大きな活力をくれたように思います。

渡部さんは京都芸大を出られた頃から、インド、ネパール、ヨーロッパ等をよく旅行され、旅行中、今の夫康雄氏と知り合い結婚。愛知県の山の中で暮らし始め、その後、実家のある徳島県へ、そして緑豊かな上勝町に引っ越されました。

上勝で有機農業を体験されたり、夫の焼き物の絵付けを手伝いながら、お二人のお子様を育ててこられました。元々、美的感性は鋭いものを持っておられ、夫君の創作活動に内助の功が多かったです。一方、地域で暮らしながら「村おこし」の活動に加わり、ゼロウェイストアカデミーのNPO会員としてゴミゼロ運動に携わったり、有機農業研究にも力をいれています。二〇〇〇年頃イギリス

これら活動が地域の人に認められ、二〇〇八年に上勝町の町会議員となり、二年目を終わろうとしています。現在、力を入れていることについて聞きました。「町全体の活性化とか人口増加、産業振興に努めているが、先のことを考えると、ポスト石油時代を如何に混乱なく迎えるか、その準備をしなければならぬと思う。石油がなくなると、それに取ってかわれるエネルギーはまず無いから、ローテクの時代となるのは間違いない。昔前の技術を継承しないと変化の時代をスムーズに乗り切れない。食糧輸入ができなくなる、自国でトラクターを使わずに食糧生産しなくてはならない。そういう準備を各自自治体やっておかなければならないと思う。」とのこと。

- 2010年度教区辞令 2010年4月1日付 新任担当 (前任)**
- 池田義高 番町教会協力司祭 (聖母学園理事長)
 - 村上康助 三本松教会担当司祭、聖母学園理事長 (普通寺教会)
 - ウィリアム・ネルソン 普通寺教会担当司祭、幼稚園園長 (三本松教会)
 - 谷口広海 (終身助祭・6月叙階予定)
 - 三本松教会管理者、長尾聖母幼稚園副園長 (司教館)
 - 岩崎 武 八幡浜教会担当司祭 (西条教会、新居浜教会)
 - ホルヘ・ソーサ 桜町教会協力司祭、司教館管理者 (八幡浜教会、宇和島教会)
 - 田中正史 宇和島教会担当司祭、幼稚園園長 (聖ヨゼフ修道院)
 - 川上栄治 道後教会担当司祭
 - 稲毛利之 西条教会担当司祭 (小豆島教会)
 - デシレリオ・カンバラ 小豆島教会担当司祭 (桜町教会)
 - ペドロ・ユ・チョンピル 新居浜教会担当司祭 (今治教会助任)
 - ロファンディ・ザヒャ 一時帰国 (郡中教会)
 - サトルニノ・ゴンザレス 松山地区協力司祭 (道後教会、松山地区協力)

『典礼奉仕』のために ⑦ 高松教区典礼委員 稲毛利之師

「ミサの本当の豊かさとは？」

りでなく、政治経済を含めたこの現実を再生するのにもイエスとの人格的な「御付き合い」でしょう。典礼もそうでしょう。私たちの典礼奉仕、素晴らしい儀式の準備、賛美歌の練習、わかりやすい朗読やよい説教、信心深い所作や態度、細かい目配りや気遣い、助け合いなど、これらはどれも大切で不可欠なものです。しかし、これらはそれそのものが目的ではありません。「今日は素晴らしい御ミサでしたね。」「賛美歌が私たちの心を打ちましたね。今日、わたしたちは一つになりましたね。」「今日の説教は良かったですね。」これだけでは不十分なのです。ルカによる福音書二十四章によると、「エマオへの道中」で二人の弟子が、みことばとパン裂きによって目が開かれ、一緒にいたその人が

イエスだと分かりました。聖書に基づくイエスの説明(みことば)と、イエスの典礼行為(パン裂き)こそ、復活したイエスと出会う鍵だと、言われています。典礼において、復活されたイエスと人格的に出会い、このイエスとの関わりの中に入る、これが私たちの典礼が目指すところです。聖パウロはフィリピの信徒へ呼びかけます。「わたしの主キリスト・イエスを知ることのあまりの素晴らしさに、今では他の一切を損失とみています。」イエスに出会ったその後、二人の弟子たちは今しがた逃げて来たエルサレムへと時を移さず戻っていきま。宣教するために！イエスそのものを伝えるために！私たちがそうであるはず。私たちの現実、社会、時には逃げ出してしまいたくなるでしょう。しかし、その逃げ出して来た同じ現実の中に戻っていくのです。イエスに出会って！そして、その現実を再生させるのです。刷新するのです。これがミサの本当の豊かさです。

ちよっとき ひととき

聖堂で 祈るべしに 春の風
十字架の 瓦をよぎる 春の風
右近像に 春の光を あびて立つ

春蘭(しゅらん)

小豆島教会 松本初枝



選任式

司式 溝部脩司教
日時 3月31日(水) 11時
場所 桜町司教座聖堂
受任者 祭壇奉仕者 使徒ヨハネ 谷口広海

内科 胃腸科 循環器科 放射線科



医療法人 翼医院
高松市茜町16-12
TEL087-837-5800

自分の信仰生活は、とても不思議な出会いからはじまりました。はじめて教会に行ったのは、生きる意味を問われているほど悩んでいる時でした。自分なんかなくてもこの世界は回っているし、いなくていいと思い、引きこもりをしてしまいました。そんなある日、友だちが心配をしてくれて、外に連れ出してくれました。そして、何も考えないで道を歩いていて迷い、困ってしまったときに、偶然カトリック松山教会という文字が目に入りました。しかし最初は神様なんていないんだ、いたら辛い思いなんてさせないはずだと思い通りすぎました。しかし教会に行きたいという気持ちが湧いてきました。行っていいのかわかりながらも、いつの間にか教会の前に来ていました。そして誰かに背中を押されるかのようにすんなり

私の背を押してくれた神様



入れました。受け付けに「ミサに出ていいですか」と聞きに行くと、受け付けの平岡さんが「ミサまで時間があるから話さない」と、中に招いてくれました。そのときの感動はいまだに忘れません。自分みたいな人間と話してくれる人がいるんだと。それから悩みを聞いてもらい、ミサに出て帰りました。そして2日ぐらいたったある日、平岡さんから要理勉強をしてみないかと電話があり、はじめることを決めました。要理勉強をして洗礼を受けてからの人生は、色々なことがあるけれど、幸せいっぱいです(笑) 神様ありがとう。

はじめ
松山教会 門田 啓

若い力

青少年委員会より

最近の青少年委員会では、集った委員でテーマごとに分かち合いをしています。今回は「家庭で信仰を伝えること」についてでした。番町教会の河合良治氏より、1. 受けたもの(伝えられたもの)、2. 伝えたい(伝わった)もの、3. 信仰を伝える喜び・難しさ、4. これから…、主にこの四点について話していただきました。次世代に信仰を伝えることは、特別に何かをすることによって伝わっていくのではなく、平凡な日常生活の営みから(例: 家族全員が集まる食事や団らん)、自然に伝わっていくものなんだということに気付かされました。

クリスマス会 2009年12月23日四国カトリック会館で、中学生から青年を対象にしたクリスマス会を開催した。約80名が参加。クリスマスの思い出や意味について分かち合った後、桜町教会の子どもたちの聖劇を鑑賞。昼食は司教様やシスター方が用意してくださった手作

りの料理をいただいた。午後は各地で用意した出しものを披露し、音楽の演奏も充実してきた。最後にキャンドルサービスで締めくくった。終始参加者の笑顔が絶えず、とてもあたたかな充実したクリスマス会となった。

青年&高校生の集い

1月23日~24日、高知県「ほっと平山」で開催された集いに計18名が参加した。テーマは「一番大切なこと」。社会や学校で何を一番大切にしているか、その中で神さまとの関わりはどうか、など4人のパネラー(青年)に話してもらい、聴いたことを分かち合った。最後にミサの中で、神父様方にまとめのお話をしていただいた。パネラーの話や分かち合いの中で、青年や高校生たちの深いとらえ方にとっても感心し、彼らの霊的な成長を実感した。スポーツや餅つきも行い、有意義なひとときだった。



「人権を考える」委員会
二〇〇七年一月高松教区「人権を考える」委員会が発足し、今年活動四年目を迎えました。現在、委員長口サイロ・ブラッドリー神父と十一名の委員で構成されています。

高松教区では「社会司教委員会」の四部会「難民移住移動者委員会」、「カリタスジャパン」、「正義と平和協議会」、「部落問題委員会」の内容を扱う委員会として立ち上げていますが、四部会の働きを十分に把握できるように担当者を置き、全ての事柄について全員で関わる方法を探っています。

1. 外国人司牧
さしあたるの急務は「外国人司牧」です。その数は教区の信徒数と殆ど変わらない約四五〇〇名程度と考えられます。彼らに各小教区の情報を提供できるか方法を探っています。二〇〇八年に教会に関わっている外国人に生活状況についてのアンケートを採ったところ、いちばんの問題は、医療、法律、仕事関係、子供の学校等で言語がネッ

2. 平和
戦争、暴力、対立、分裂が耐えない世界であるからこそ平和への関心を育てる必要を感じます。そのためにまず八月六日から十五日までの「平和旬間」の充実を努めています。教区を挙げて「祈りのリレー」、「平和を祈るミサ」、他のグループ主催の「広島平和行進」、「歌って、踊って平和を語ろう」、「平和音楽会」などの応援に多くの教区民の参加を呼び掛けています。念願だった「沖繩平和巡礼」も実現しました。

3. カリタス
国際カリタス(カリタスII)「愛」を母体としたカリタスジャパンは、現在日本全国の全教区で活動しています。二〇〇九年十一月九日創立四十周年を記念して「全日本カリタス・教区担当者セミナー」(菊池功責任司教・幸田和生担当司教)が開催さ

ように励まされました。国内での活動としては①援助活動(愛の献金・災害援助)②緊急援助、長期援助③社会福祉プロジェクト(福祉セミナー・十年度「自死と孤立」)等があります。同年十一月二十一日、四国カトリック会館でも「カリタスジャパン」事務局長田所氏と秘書の成井神父とによるワークショップが行われました。教区全地区から司祭、シスター、信徒二十名ほどの参加を得て「カリタス」の使命について、勉強会をしました。ハイチ大地震が起りましたが、カトリック教会のある所には必ず「カリタス」も存在しています。「カリタスジャパン」が集める募金は直ちに現地の「カリタス」を通して確実な援助に繋がっています。四旬節に入りました。小冊子「つなぐ二〇一〇」を祈りと黙想に役立てながら、私たちの愛の証である「四旬節の愛の献金」を、貧しく苦しい生活を余儀なくされている方々に回心の心を持ってお捧げしたいものです。

高松教区の「人権を考える」委員会」の活動は地味なものです。少しでもよい良い世界造りに貢献できるなら、イエスのことばどおり、自分のためではなく人のために生きるようになるでしょう。

道後で宣教始める
道後教会 丸尾 修

道後教会 丸尾 修

道後教会 丸尾 修

福者 ナバロ神父をしのぶ
島原半島巡礼の旅 上

長崎の諫早から島原鉄道に乗り、有明海を見ながら約一時間走りやると島原に着いた。

道後教会 丸尾 修

道後教会 丸尾 修

道後教会 丸尾 修

医療法人社団聖心会 阪本病院

看護師・准看護師 随時募集中です!

ご連絡をお待ちしています。

※院内保育園開設 (今年3月頃)

連絡先(事務局) 0120-770-315

聖マルチン病院

薬剤師・看護師 (募集) 随時募集しています。

聖マルチン病院で 聖門職を 発揮しませんか

下記に ご連絡ください。(総務課) 0877-46-5195

家庭祭壇 祈りと安らぎの空間

家族揃って祈れる場所が ご家庭におありでしょうか?

8.5万円~各種取り揃えておりますので、お気軽にご相談ください。カタログを無料にて郵送致します

TEL 0972-63-4187

担当: ローザ平林美穂子

T 675-0041 大分県臼杵市豊原町三線 山本鳳凰堂

私たちは、自分を創造しようとするこどもを まなび、護りましょう

暁の星学園

鳴門聖母幼稚園 高知聖母幼稚園
阿南聖母幼稚園 海の星幼稚園

医療のともしび (19) 食中毒に注意

え・冬場に食中毒!と思われる方があると思われ
ますが、夏だけではなく冬にも結構食中毒による下痢
や嘔吐、腹痛が発生します。その代表がノロウイルス
感染に由来する感染性胃腸炎です。宴会の後や学校、
病院などで集団発生することもよくあります。原因は
ノロウイルスに汚染された「かき、さしみ」等の魚介
類を生で食べることで、感染した人の便や吐物に触れ
て感染することもあります。私どもの病院でも、ある
グループが新年会をやった翌日、何人がかひどい下痢
をして点滴を受けた人もいます。このときはやはり
「酢がき」が出たそうです。ウイルス検査まではしま
せんでしたが、恐らくノロウイルスによる感染性胃腸
炎だろうと言うことになりました。

この胃腸炎は感染した人の吐物や便に触れ、消毒や
手洗いが不十分で二次的に発生することも良くありま
す。家族内はもちろんです。病院や老健施設で、いわ
ゆる人から人へ感染が広がって行く事がよくあります。
患者さんとの接触、吐物や下痢便に触れ、手洗いや汚
物処理が不完全だとウイルスに感染します。発症まで
に大体2、3日の潜伏期があり、その後嘔吐や腹痛、

下痢が突然おこります。下痢は1日に10回以上とい
うものもあります。熱が出る事は殆どありません。人
から人に感染する場合は、患者さんの便や吐物が経口
的に入って発症するので手洗いが最も重要です。床や
ベッド柵、便座、衣服、布団などに吐物や便がついた
場合、直接手で触るのではなく必ず手袋をして処理し
てください。汚染物を処理する場合はビニールのエプ
ロンをし、手袋、マスクの着用、そして最後に徹底し
た手洗いが大切です。

このウイルスは熱に弱いので食べ物は加熱して食べ
れば問題ありません。衣服や布団についたものは0.1%
の次亜塩素酸(市販されているハイター)に1時間程
度浸漬すれば他の細菌も含めて殺滅できます。ベッド
柵や便座、床に着いたものは0.1%の次亜鉛素酸を染み
込ませたペーパータオル、布等で外側から内側に向け
て拭き上げる。使用したペーパータオル等はすぐにビ
ニール袋に入れ感染性廃棄物として捨てる。なお床に
限っては、先に次亜塩素酸の原液を降りかけ、後でペ
ーパータオルや布で拭き上げることもあります。手洗
いは石鹸をつけて丁寧に洗い水道水で流してください。

今は新型インフルエンザが問題となっていますが食
中毒のことも忘れないようにしてください。

愛媛労災病院 篠崎文彦

祈りのうちにストラ作り

「桜町教会手芸クラブ」メンバー



司祭年を記念するための感謝のシ
ンボルとして、司教座聖堂用ストラ
ン、司祭用十本、助祭用二本、計十二本
が、今回「女性の視点から教会を考
える委員会」の依頼によって、桜町
教会手芸クラブのメンバーの奉仕と
他地区委員方の祈りや献金などに
り完成しました。これらのストラは
三月三十一日の聖香油ミサで、初め
て着用されます。



日本二十六聖人巡礼ウォーク 西坂へ到着

九年に及ぶ、京都から長崎への巡礼が
終わった。

一月十六、十七日の二日間を明け、佐
賀県武雄から長崎県東彼杵へと歩を進め、
二十六聖人の一行が、大村湾を渡るため
乗船した場所である彼杵川河口に到着し
た。大村湾は、鏡のように静かに凪いだ
海で、四百年前もこ
のような海であった
かと思うと、旅の終
わりが近づいたこと
が実感され、非常に
感動した。二十六聖
人乗船場跡記念碑の
前で祈り、最終回へ
とつなげた。

京都から長崎へ 聖人の足跡をたどる



西坂殉教地
二十六聖人レリーフ前で祈りを捧げる

西坂に向け最後の四キロメートルほどを
巡礼した。一時間余りで西坂に到着、二
十六聖人のレリーフ前で祈りを捧げ長い
旅が終わった。
我々は、二十六聖人が、一五九七年一
月九日から二月五日まで祈りとともに歩
いた道のりを、九日間六十八日をかけて
辿ったことに
なる。
一回あたり
十数キロ、しつ
かりとした靴
を履き、冬に
は防寒着を着
込み、随所に
あるコンビニ
や自動販売機
で水分を補給
することがで
きたという面
では聖人達に比べ、はるかに「楽な旅」
だろう。しかし、これだけの期間続ける
ためには、参加者それぞれが何かしら犠
牲にし、また、お互いに支え合ってきた
と思う。そして、それぞれに祈りながら
黙々と歩くうち、聖人達が神に全てをゆ
だねた心になれることができたのではな
いだろうか。

二月六、七日、十
八名が桜町教会を出
発、バスで長崎へと
向かった。予定より
も早く長崎県に入る
ことができたため、
前日終着点の乗船記
念碑に立ち寄り、祈
りを捧げた後、再び
バスで二十六聖人上
陸記念碑のある時津
を目指した。最終回
の出発点である時津
では、この巡礼の前
半にナビゲーターと
して活躍した小川洋
氏と合流し、祈念碑
の前で祈りを捧げた
後、西坂へ向け巡礼
を開始した。

初日は浦上天主堂
までとし、翌七日、
桜町教会 長谷川 聖



二月七日、西坂へ向け出発
浦上天主堂下にて

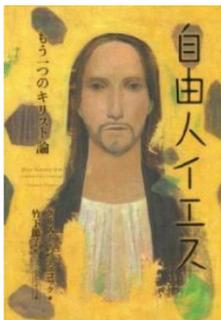
教区スケジュール

- 3月
2日(火) 司祭評議会 10:00
6日~7日(土~日)
拡大宣教司牧評議会(徳島) 13:00受付
7日(日) 四旬節第3主日
13日(土) 女性委員会
14日(日) 四旬節第4主日
17日(水) 長崎信徒発見記念日
19日(金) 聖ヨセフ
21日(日) 四旬節第5主日 春分の日
22日(月) 振替休日
24日(水) 生涯養成委員会 13:15
25日(木) 神のお告げ
28日(日) 受難の主日(枝の主日) 世界青年の日
31日(水) 聖香油ミサ 11:00

- 4月
1日(木) 聖木曜日
2日(金) 聖金曜日(大斎・小斎) 「聖地献金」
3日(土) 聖土曜日
4日(日) 復活の主日
11日(日) 復活第2主日
17日~18日(土~日)
生涯養成委員会主催
一日黙想会inマリアの家
18日(日) 復活第3主日
24日~25日(土~日)
子ども&高校生の集いin松山
25日(日) 復活第4主日「世界召命祈願の日」
28日(水) 生涯養成委員会 13:15
29日(木) 昭和の日 シエナの聖カタリナ

新刊書籍紹介

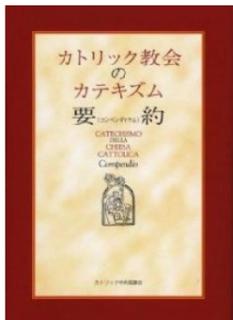
■自由人イエス「もう1つのキリスト論」



イエスが同時代の人々からどのように見られていたか、また、イエスご自身は自分をどのように考えておられたか、ということ、歴史的イエス像を見ることによって、魅力的に私たちに紹介しています。

著者：クリスチャン・デュコック
訳者：竹下節子
定価：1,890円(本体1,800円+税)
四六判並製 237ページ
発行：ドン・ホスコ社

■カトリック教会のカテキズム



「カトリック教会のカテキズム」の「忠実かつ確実な要約」である本書は教会における勉強会、求道者向けの勉強会のテキストとして、又カトリック学校における宗教の時間の読本としても最適です。

定価：1260円(税込)
B6判 並製 352ページ
発行：カトリック中央協議会

書籍のお求めは
松山教会マリア書院、桜町教会書院へどうぞ

読者からの便り
カトリック教区報一月一日号を読み司教様たちがプロ野球、しかも阪神について話を交わしているの知り驚いていました。多分キリスト教の事はわかり話されているとばかり思っていたからです。これから色々な記事を私たち信者に知らせて下さい。

編集後記
新年もいつの間にか弥生。時の流れに付いていくのに一杯です。
広報についてのご意見ご希望など、どしどしお寄せ下さい。



「イースターテアトロ」
【三月二十八日(日)】
午後一時・桜町司教座聖堂
桜町教会学校の子供達による受難劇が、今年もまた上演されます。
奮ってご来場ください。
オペラ
「忘れられた少年」
愛媛公演
【五月十九日・二十日(土・日)】
松山市コミュニティセンター
カメラリアホール

住まいの水廻り専門店
ガオロ設備株式会社
〒761-0102 高松市新田町甲469番6
☎(087)-841-5310(代) FAX(087)-843-7290